

☆政研フォーラム40周年記念行事

☆友愛連絡会の動き

☆コラム 吉原恒雄

第62号 2000年2月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

# 民社

発行 民社協会

編集発行人 貞鍋 貞樹

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号  
和田ビル4階

TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行  
購読料 年間 2,000円

(会員の購読料は会費の中に含む)

## 力を合わせて 衆院選を闘い抜こう

—相互の連携の絆を大切に—



友愛連絡会

会長 高木 剛

新しいミレニアム(千年紀)の始まりの年、2000年が始まりました。時あたかも時代の大転換期ともいえるべき状況に遭遇しており、政治も経済、社会も先行き不透明感が強く、国民の多くは不安・不信の中で新しい年を迎えたのではないかと思います。

先が見えない、何を物事の判断の軸となるモノサシにすれば良いのか確信が持てないといった雰囲気のもとで、日本国民は自らのアイデンティティをどのように認識したら良いのか、その混迷が将来に対する不安・不信を増幅しているといわれています。

こんな状況の中で、今、私たちはもがいております。

私たちは、昨年5月24日、同盟、友愛会議、友愛会と続いた歴史に一区切りをつけ、友愛連絡会を結成しました。労働組合の政治活動を連合へ一元化、一体化させようという機運が高まる中で、その動きに対応すると同時に、同盟以来長い間培ってきた信義と友愛の絆をつなぐための場として、また、政治活動の連合への一元化・一体化といっても地域によっては、まだまだ難しい実態を抱えているところもあり、そのような実態をふまえて対応していく場として、友愛連絡会を設立したわけです。

私たちの政治活動は、第一義的には、連合の場でうまく対応できない場合は友愛連絡会の場での整理になります。

私たちは長い間、民社党を支援してきました。民主社会主義に立脚し、日本の今日あるを主導した民社党の政策には大きな評価を得たものが多くありました。しかし、小選挙区制は民社党としての存立を許さず、解党の道が選択され、新進党の結成に参加ということになりました。その新進党が2年前に解党され、民社協会所属の国会議員の皆さんが民主党と自由党の二党にわかれるという状況になっております。

政治状況は次々と変わり、それぞれの議員の皆さんのご判断で選択された結果だと思いますが、政党の違い、とりわけ与・野党に分かれている状況は、私たちにとって時には悩ましい対応を強いられる事態を招来しかねません。

日本の政治、政党の状況はまだまだ過渡的かつ流動的という分析もありますが、イデオロギーの対立色が薄まる中で、どんなモノサシで何が測られるのか、その見極めがど

のような政治状況のもとでつくのか、など、今後の流れを見守らなければならないので

しょう。いずれにしろ、民主社会主義的な考え方は、一つのモノサシたり得るものであり、ヨーロッパ諸国における民主社会主義政党の政権獲得は、民主社会主義の普遍性を確信させるものだと思います。民社協会と友愛連絡会はこの民主社会主義の普遍性について認識を共有しあえる関係です。この関係をふまえ、当面どんな関係を築いていくのか、話し合っていきたいと思っております。

連合は、民主党を基軸に総選挙を闘う方向を確認しています。私たち、友愛連絡会に集う仲間も、連合の一員として民主党を中心に選挙に対応していくこととなりますが、民社協会所属の国会議員の皆さんとは、今までのお付き合いを通じて作り上げてきた関係もあります。それぞれの地域の事情等を勘案してお付き合いしていくことになると思っております。

民社協会としてこれからどうしていかれるのか、難しい事情も抱えておられると存じます。しかし、民社協会が存在される限り、友愛連絡会は何らかのお付き合いを続けていかなければならないと多くの仲間は考えているはずですが、いずれの日にか、民社協会の存続問題にも議論が及ぶ日が来ると思いますが、民社協会の担っている役割があり、協会として存続される間は、お互いの協力関係を意義の高いものにしていくのは当然のことでしょう。

今年、総選挙の年です。21世紀初頭の日本の政治の形を決める選挙です。

私たち友愛連絡会は、この衆議院選挙に対し、連合の枠組みをふまえながら、民主党を基軸にし、あわせてパートナーを基本に民主党以外の政党の候補者も一部支援する形で対応していくことになると思っております。いつ衆議院が解散されるのか分かりませんが、いずれにしろ数ヶ月内には選挙です。

全国各地で民社協会の皆さんとの連携をはかりつつ、事前の準備を進めていきたいと考えております。厳しく難しい選挙になる選挙区も多いと思っておりますが、力を合わせて頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。